



セーフティガイドライン 2008-2009

## LEVEL 6

### General Tumbling(タンブリング全般)

- A 全てのタンブリングは競技フロアーから始め、フロアーに着地すること。ただし、競技フロアーからタンブリングを始め、フロアーに着地せずに足から、またはうつぶせでスタンツに移行するのは可。  
(例:側転からのショルダー・シット等は可)
- B スタンツや選手、小道具を飛び越える、くぐり抜ける、タンブリングは禁止。(例外:小道具を飛び越える前/後転は可)
- C 小道具を持ったまま、または触れた状態でのタンブリングは禁止。
- D スポッターをつける、支えられる、または人が連なったのタンブリングは禁止。
- E ダイブロール(飛び込み前転)
  - 1) 伸身やスワンでの飛び込み前転は禁止。
  - 2) ツイストを含む飛び込み前転は禁止。
- F スタンツにおけるフリップ(※)、ツイスト等の動作はタンブリングではない。  
デスマウントとインバージョン(※)の項目参照。

### Standing Tumbling(立位タンブリング) / Running Tumbling(走りこみタンブリング)

- A フリップ(※)は1回転、ツイストは2回転まで。

### Stunts(パートナースタンツ)

- A スポッター
  - 1) 片手でエクステンション・レベルの高さのリバティやオーサムを行う場合、必ずスポッターをつけること。
  - 2) フリップ(※)やツイストを含むマウントまたはスタンツの移行を行う場合、必ずスポッターをつけること。
- B ツイスト・マウント(※)とツイストの入ったスタンツの移行はトップの回転が2回転までとする。
- C フリップ(※)または補助つきフリップ(※)を含むスタンツやトランジショナル・スタンツ(※)は可。  
必ずフロアーから開始すること。フリップ(※)1回転、ツイスト2回転まで可。(例外:フリップ(※)からクレイドルは可)  
フリップ(※)を経由して肩の高さ以下の位置でキャッチされるトランジショナル・スタンツ(※)では、  
トップの頭と肩を補助するスポッターをつけること。
- D トランジショナル・スタンツ(※)を行う際、ベースは交代しても良い。
- E シングルベース・スプリッツ・キャッチング(※)は禁止。
- F シングルベースのダブルキューピー(※)は各トップにスポッターをつけること。
- G スタンツにおけるリリース・ムーブ(※)
  - 1) リリース・ムーブ(※)は可。
  - 2) リリース・ムーブ(※)において、うつぶせ姿勢で着地は禁止。
  - 3) リリース・ムーブ(※)は、必ず元のベースに戻ることに。



セーフティガイドライン 2008-2009

## LEVEL 6

- 4) ヘリコプター(※)は 180 度回転で 1/2 ツイストまで、3 名以上のキャッチャーで 1 名はトップの頭と肩を補助してキャッチすること。
- 5) リリース・ムーブ(※)は意図的に別の場所へ飛ばしてはいけない。

### I スタuntsにおけるインバージョン(※)

- 1) トップが逆さになるスタuntsは可。スタuntsとピラミッドの項目参照。
- 2) プレップ・レベル(※)以上の高さからダウンワードインバージョン(※)を行う場合、少なくとも 2 名以上のベースがトップを支えていること。少なくとも 1 名のベースが主にトップに触れていなければならない。

### Pyramid(ピラミッド)

- A ピラミッドを行う際は、パートナースタuntsとデスマウントの規則に従うこと。
- B ピラミッドは 3 段=2-1/2high(※)まで可。
- C 2-1/2 high(※)のピラミッドは最上段の各トップに対し、前後にスポッターをつけ、トップが 2-1/2 high(※)の高さにいる間、スポッターは同じポジションを保つこと。スポッターは少し横にずれたポジションに立っても良いが、状況に応じてトップをスポットできるようにし、トップが 2-1/2 high(※)の高さにいる間、常にトップから目を離さないこと。この時、スポッターはピラミッドの主な重心を支えてはならない。
- D フリーフライング・マウント(※)はフロアーからスタートすること。フリップ(※)1 回転とツイスト 1 回転または、フリップ(※)を加えないツイスト 2 回転まで可とする。
- E ピラミッドでのリリース・ムーブ(※)
  - 1) トランジショナル・ピラミッド(※)を行う際、トップはプレップ・レベル(※)以下の高さの 1 名以上のトップの身体に触れていれば 2-1/2high(※)以上の高さを経過しても良い。
- F ピラミッドでのインバージョン(※)
  - 1) トップが逆さになるスタuntsは 2-1/2high(※)の高さまでとし、トップをプレップ・レベル(※)以下の高さで 1 名以上の選手が支えること。
  - 2) プレップレベル(※)以上の高さから逆さ状態で降りる場合、2 名以上のベースが補助しなくてはならない。トップは 1 名のベースまたは他のトップと接触してはならない。
- E ピラミッドでの支持ありのインバージョン(※)を伴うリリース・ムーブ(※)
  - 1) トップが支持された状態で逆さになる際(ブレス・フリップ(※)を含む)、プレップ・レベル(※)以下の高さで 1 名以上に支えられていること。
  - 2) ブレス・フリップ(※)は 1-1/4 回転、ツイストは 1 回転まで。
  - 3) ブレス・フリップ(※)は 2 名以上のキャッチャーでキャッチすること。



セーフティガイドライン 2008-2009

## LEVEL 6

### Dismounts(デスマウント)

- A シングルベースでのクレイドル・キャッチングにおいて、1-1/4 回転以上のツイストをする場合、少なくとも 1 名のキャッチャーとトップの頭と肩を手/腕で補助するスポッターを 1 名つけること。
- B プレップ・レベル(※)以上の高さのスタンツやピラミッドからフロアーへのデスマウントは必ず補助すること。
- C 2 high(※)の高さのスタンツやピラミッドからのツイスト・クレイドルは 2-1/4 回転まで可とし、少なくとも 2 名のキャッチャーでキャッチすること。2-1/2 high のピラミッドからのツイスト・クレイドルは 1-1/4 回転まで可とし、3 名以上のキャッチャーでキャッチすること。(例外:トップが正面を向いている 2-1-1 サイスタンド(エクステンション、リバティ、ヒールストレッチ等)は 2 回転のツイスト・クレイドルを可とする)
- D フリップ(※)・デスマウントは 1 回転まで、ツイストは加えないこと。
- E フロアーへのフリップ(※)・デスマウントは禁止。
- F プレップ・レベル(※)以下の高さからフリップ(※)をクレイドル・キャッチングする場合、少なくとも 2 名以上のキャッチャーでキャッチを行い、うち 1 名は元のベースであること。
- G プレップ・レベル(※)より上の高さから始まるフリップ(※)は禁止。  
(例外: 2-1/2 high(※)の高さのピラミッドからの 3/4 フロント・フリップは可。ただし、2 名のキャッチャーとトップの頭と肩を支えるスポッターをつけること。この時、スポッターは少し横にずれたポジションに立っていても良いが、トップの頭と肩を少なくとも片手/腕で支えること)
- H テンションドロップ/ロールは禁止。
- I シングルベースのダブルキューピー(※)をクレイドル・キャッチングする際は、2 名のキャッチャーとトップの頭と肩を手/腕で補助するスポッター1 名がそれぞれのトップをキャッチする。  
キャッチャーとベースはデスマウント開始前に静止していなくてはならない。

### Tosses(トス)

- A トスペースは 4 名まで。ベースの 1 名は必ずトップの後ろで支え、トップのトスを補助してもよい。
- B トスはフロアーの高さから始め、クレイドル・ポジションで終了すること。トップは 3 名以上のベースにクレイドル・ポジションでキャッチされ、うち 1 名はトップの頭と肩を支えること。(例外:ヘリコプター・トス(※))
- C フリップ・トスはフリップ(※)1 回転まで、ツイストは 2 回転までとする。
- D スタンツ、ピラミッド、選手、または小道具が、他のトスを越える、もしくはくぐることは禁止。また、トスが他のスタンツ、ピラミッドまたは選手、小道具を越える、くぐる、もしくは間を抜けることも禁止。
- E フリップ(※)なしのツイスト・トスは 3-1/2 回転まで可。
- F ベースが交代するトス
  - 1) トップが別の組のベースにトスされる場合、3 名以上のキャッチャーでクレイドル・キャッチングする。
  - 2) キャッチャーは他の技や振り付けを行ってはならない。トスが始まった時から最後までトップから目を離さないこと。
  - 3) トスのツイストは 1-1/2 回転まで、フリップ(※)は禁止。  
(例外:ツイストを加えない、3/4 フロント・フリップは可)